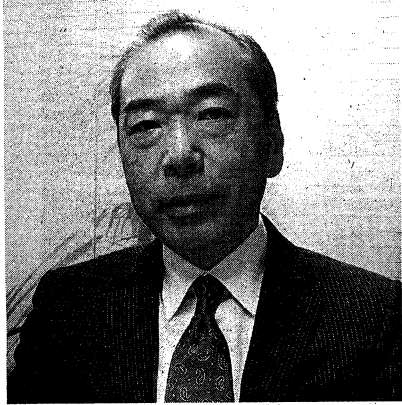


きめ細やかな営業推進

JFEシビル・横浜の戦略

JFEシビル(本社) 東京都台東区、藤井善英社長)の横浜支店(横浜市西区)は今年に入ってリニューアルし、大手デベロッパーのほか、神奈川県を中心にしたきめ細かい営業を進めている。成長を続けるJFEシビルのなかで、横浜支店がどのような役割、戦略を持つか、大川善秀支店長(建築事業部副事業部長)に聞いた。

「JFEシビルは一般建築のほか、システム建築、立体駐車場、製鉄所土建など幅広く手掛けているが、横浜支店の役割は、



大川 善秀支店長

グループ人脈を活用

「建築事業部のもと不動産の大型物流施設で、元請として、神奈川県を中心に取り先に川県を中心に取り先に川県を中心に取り先に川県を中心に取り先によつては関東圏の案件を受注している。三井手掛けている。これが

「JFEグループの人脈も活用して、生産施設等の更なる拡販を進めていきたい」

「神奈川県にはJFEスチールの東日本製鉄所(京浜地区)もあり、JFEグループとしてのメリットも出てくるか。」

「JFEフロントからJFEグループの受注実績がある。このような実績の積み重ねが評判を呼んで、他企業からも声がかかるような効果を生んでいる。」

「7年前に支店が出来てからの売上高の推移は、」

「設立当初は20億円規模だったが、16年度計画は50億円以上。大型案件に頼るのではなく、地元に着目している顧客からも継続的に受注できる体制にしていきたい。規模的に5億〜10億円の案件を積み上げることで、安定的な支店運営をめざしている。」

「神奈川県マーケット状況は、」

「マーケット状況は良いと言える。今後、色々なプロジェクトの中で港湾地区再開発の計画も動き出していくと思われるが、当社の得意とする鉄骨造の物流施設、商業施設等に照準を絞り、営業を推進していきたい。」

「忙しくなってくるが、人材の増員などの計画はあるか。」

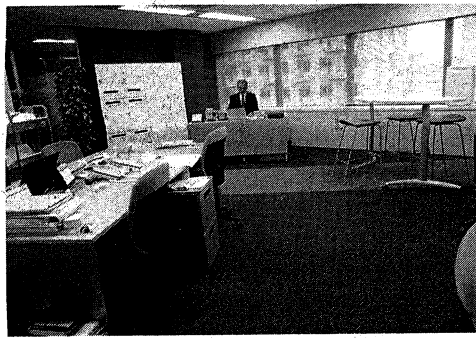
「人を増やすよりも、人を育てていきたい。お客様に信頼されるため、『行動は機敏に、計画は緻密に』というところを言っている。少数精鋭で営業を進めていきたい。」(山本 章央)

「は浸透しており、その信用力は大きい。鉄骨造はJFEシビルが得意という評判が広がるなかで、比例して工事の相談を受けるケースも増えている。その期待に応えていきたい。」

「三井不動産、野村不動産、GLPとい

JFE 横浜を移転拡張

JFEシビル(本社) 東京都台東区、藤井善英社長)の横浜支店(横浜市西区)は今年に入ってリニューアルし、大手デベロッパーのほか、神奈川県を中心にしたきめ細かい営業を進めている。成長を続けるJFEシビルのなかで、横浜支店がどのような役割、戦略を持つか、大川善秀支店長(建築事業部副事業部長)に聞いた。



開放的なオフィススペース。前と比べて約25%広くなった。オフィス面積も広がったこと、打ち合わせスペースも充実し、職場環境は格段に

向上した。

横浜支店はJFE工建の統合に伴い、2009年4月に誕生し、三井不動産など大手デベロッパーのほか、地元企業への営業を展開している。今回の移転により、営業力を高めることで一段の成長をめざす。

▽住所 東京都台東区0004 横浜市西区北幸1丁目11番15号(横浜S.Tビル8階)
▽電話 045-594-7401
▽FAX 045-594-7402